

ひがしうら

議会だより
— 6月定例会 —

No.
230
2026.8.1

— TOPICS —

P2～3 6月定例会
こんなことが決まりました
コミュニティセンター条例制定

P7～13 町政を問う！一般質問

裏表紙 聴かせて！
ひがしうら 好きですか？

地域で支える憩いの場(オレンジカフェこころ屋)
⇒関連記事裏表紙

6月定例会 全会一致で決定した案件		
議案番号	議案名	結果
同意2・3	人権擁護委員の推薦について	同意
同意4～16	農業委員会委員の任命について	
報告6	令和7年度東浦町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	
報告7	令和7年度東浦町水道事業会計予算繰越計算書の報告について	
議案36	東浦町コミュニティセンター条例の制定について	可決
議案37	東浦町藤江コミュニティセンター条例の制定について	
議案38	東浦町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例及び東浦町職員の退職手当に関する条例の一部改正について	
議案39	東浦町公民館条例の一部改正について	
議案40	令和8年度東浦町一般会計補正予算(第4号)	
議案41	令和8年度東浦町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	
議案42	東浦町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について	
議案43	工事請負契約の締結について(北部中学校普通教室管理棟トイレ及び屋根改修工事)	
議案44	令和8年度東浦町一般会計補正予算(第5号)	
—	議員派遣	
令和8年第2回臨時会 全会一致で決定した案件		
承認2	東浦町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認
承認4	東浦町都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	
議案35	令和8年度東浦町一般会計補正予算(第3号)	可決

PickUp
1・2PickUp
3

こんなことが決まりました

6月定例会

6月3日～25日

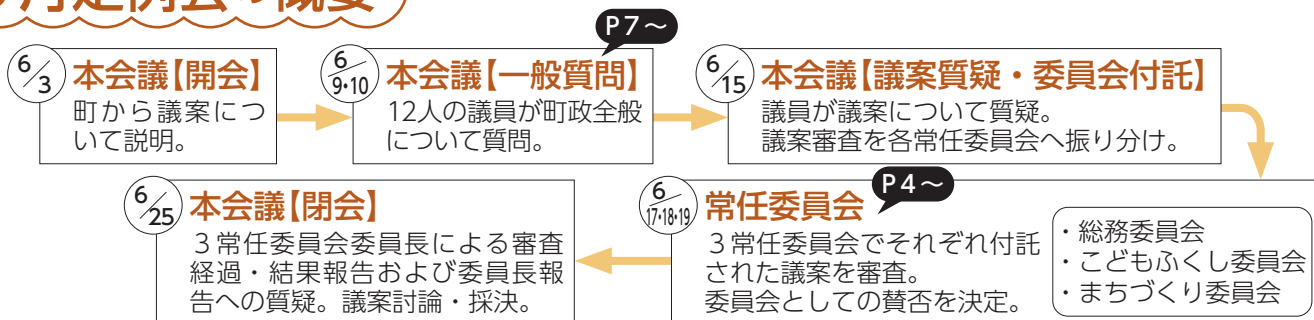
YouTube

5/22 令和8年
第2回臨時会条例の一部改正及び補正
予算について審議し、可決。

6月定例会 賛否が分かれた案件																		
議案番号	議案名	結果	新政クラブ					清流会			親和会		公明党東浦		国民 民主党	日本共産 党東浦	高志会	
			鏡味	間瀬	前田	北野	長坂	三浦	水野	間瀬	久松	山下	大川	秋葉	赤川	山田	杉下	森
			昭史	元明	明弘	興地	知泰	雄二	久子	宗則	純志	享司	晃	富士子	操恵	眞悟	久仁子	靖広
—	東浦町議会議員の政治倫理に関する条例に基づく措置の決定について	可決	議	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●	○	○	○	○	○
令和8年第2回臨時会 賛否が分かれた案件																		
承認3	東浦町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認を求めることについて	承認	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○

※「議」は議長(採決に加わらない)、○は賛成、●は反対、×は欠席議員、－は本人に関する事案のため採決に加わらない

6月定例会の概要



報告します

東浦町議会の
個人情報の保護
に関する条例の
施行状況

【条例の概要】

議会が保有する個人情報の取り扱い等を定め、個人の権利利益を保護する目的で、議会独自の個人情報保護条例を制定しています。本条例第51号の規定で、毎年度、施行状況をとりまとめ、概要を公表することになっています。

令和7年度 個人情報保護制度の施行状況(件数)

請求 件数	決定等の内訳				
	開示	部分開示	不開示	その他	計
0	0	0	0	0	0

PickUp 1

アジア競技大会・アジアパラ競技大会を盛り上げる

両大会の開催を契機として、国際理解の促進や多様性を尊重し合う共生社会の実現を図るとともに、住民が大会を身近に感じ、地域一体となって大会を盛り上げる。

Q 観戦ツアーの日程、観戦競技、募集人数、参加の際の費用負担は。

の方を対象に各40人を募集。小学生は保護者同伴とする。10月19日は保育園児を対象として考えている。

A バスによるツアーを予定している。

日程は、9月22日(火)、9月26日(土)、10月17日(土)、10月19日(月)、10月24日(土)で実施予定。

Q 会場等への下見は。

現地確認については、今後バス会社と運行ルートや安全性の確認を行う予定。会場内については、必要に応じて現地調査を実施し、安全に遂行できるように準備していく。

観戦競技は、9月22日フリケット、9月26日サッカー、10月17日ブラインドフットボール、10月19日車いすバスケットボール、10月24日パラフェンシングを観戦種目として選定、現在申請手続き中。

募集人数は、9月22日、10月24日は小学生から高校生までを対象に、10月17日は一般



▲フリケット

PickUp 2

モデル事業として石浜児童館を中高生の居場所に

石浜児童館を中高生の居場所づくりとして、月2回土曜日を時間延長して利用可能にする。

Q 石浜児童館を中高生の居場所づくりのモデル事業とした理由は。

石浜児童館は他の児童館に比べて多くの児童が利用。児童クラブや一般来館で来た小学生が遊んでいる空間では中高生が遠慮して利用を控えるケースが多い。石浜児童館利用の中高生から「開館時間を延ばしてほしい」などの声もあり既存の児童館の機能を拡充し中高生が安心して児童館を利用できる仕組みが必要。

石浜児童館は他の児童館に比べて多くの児童が利用。児童クラブや一般来館で来た小学生が遊んでいる空間では中高生が遠慮して利用を控えるケースが多い。石浜児童館利用の中高生から「開館時間を延ばしてほしい」などの声もあり既存の児童館の機能を拡充し中高生が安心して児童館を利用できる仕組みが必要。

石浜児童館は他の児童館に比べて多くの児童が利用。児童クラブや一般来館で来た小学生が遊んでいる空間では中高生が遠慮して利用を控えるケースが多い。石浜児童館利用の中高生から「開館時間を延ばしてほしい」などの声もあり既存の児童館の機能を拡充し中高生が安心して児童館を利用できる仕組みが必要。

Q 土曜日に実施する理由は。

平日に比べて児童クラブの利用者が少ないこと、遅い時間帯であれば、より少なくなるので中高生が利用しやすい土曜日の17時から20時までとした。

Q 他児童館へ展開する考えは。

他の児童館への展開には、各地域性やそれに応じた課題も異なる

Q 他児童館へ展開する考えは。

他の児童館への展開には、各地域性やそれに応じた課題も異なる



PickUp 3

指定ごみ袋を前倒し購入

住民生活を支える指定ごみ袋について、中東情勢による原材料供給不安を受け、前倒し購入の目的、価格影響、共同調達の有無、情勢変化時の執行判断を確認した。

Q 前倒し購入の目的は、価格上昇対策なのか。

供給体制がすぐ戻るとは限らないため、前倒し購入を決めているが、今後の情勢を見ながら判断する。

A 価格対策ではなく、住民へ指定ごみ袋を安定的に供給することを主目的に、追加の補正予算を計上した。

Q 東部知多衛生組合構成市町と、指定ごみ袋の共同調達や規格統一について検討したか。

今後、原材料の供給不安が解消された場合も前倒し購入するの。

A 現在、構成市町との共同調達や規格統一の協議はしていない。

Q 今後、原材料の供給不安が解消された場合も前倒し購入するの。

中東戦争終結後も



▲十分な在庫を確保しているため、普段どおり購入できます。

常任委員会

3新委員会に徹底調査

こんなことを聞きました

常任委員会とは？

その部門に属する町の事務に関する調査を行い、また、議案、請願・陳情等を審査します。本町議会では、3常任委員会に分かれています。

総務委員会

総合計画、広報、財政、DX推進、税務庁舎管理、選挙、防災、戸籍等に関すること

いづもふくし委員会

学校教育、保育園、生涯学習、スポーツ、図書館、健康、高齢者・障がい福祉、保険・年金等に関すること

まちづくり委員会

交通安全、防犯カメラ・啓発、コミュニティ、ごみ、環境、農業、消費生活、観光、都市計画、バス、公園、建築、道路、河川、防犯灯、上下水道等に関すること

まちづくり委員会

条例改正

東浦町コミュニティセンター 条例の一部改正について

これまで公民館として設置していた森岡、緒川、卯の里、石浜、生路の各コミュニティセンターを集会、交流、講習、文化活動等の場に提供し、地域活動の促進、町民の福祉向上に資する施設とする。

Q 新たにコミュニティセンター 条例を制定する必要性は。

条例を制定する必要性は。

Q 具体的に全額免除・半額免除 となる団体や事業の例は。

具体的な全額免除・半額免除となる団体や事業の例は。

A 「東浦町施設使用料の減免ガイドライン」に基づき、個別に判断している。

Q 維持管理経費に対して利用者負担が占める割合はどの程度を想定しているか。

A 施設の維持管理に要する経費の全てを利用者負担で賄うものではないため、受益者負担の考え方を取り入れながらも、町による公費負担とのバランスを考慮して使用料を設定している。

Q 営利利用の拡大と公共施設としての公益性とのバランスをどのように考えているか。

A 利用状況を注視し、営利利用が過度に増加し、地域活動や住民利用に支障を及ぼすような場合には、利用調整の方法を含め必要を見直しを検討していく。



▲石浜コミュニティセンター

総務委員会

一般会計 補正予算

賦課徴収事務費^①が増額に

中東情勢による価格の高騰と原材料のアルミ、塗料の入手困難が予想されるため、来年度購入予定を前倒し、原動機付自転車用ナンバープレートの作成をする。

Q 実際に価格は高騰しているか。

A 昨年度購入した金額より価格は10%ほど上がっている。

Q 於大生誕記念のナンバープレートが予算の中に入っているか。

A 現時点で詳細が決まっていない。絵柄無しナンバープレートを希望する方もいると思われるため、例年同様の作成を予定しており、絵柄入りは含まれていない。



▲原動機付自転車用
ナンバープレート



▲絵柄入り
ナンバープレート
(イメージ)

語句
説明

①賦課徴収事務費…地方自治体が地方税や保険料などを計算し、徴収に使う経費

条例改正

東浦町公民館条例の一部改正について

公民館条例が一部改正され、藤江公民館が廃止される。

Q 藤江公民館廃止後、その機能は藤江コミュニティセンターへと引き継がれるか。

A 藤江コミュニティセンターは、もととも公民館とは設置根拠が異なる。地区住民に身近な場所での生涯学習機会・生涯スポーツ機会を提供するという町の施策は継続していく。藤江コミュニティセンターに限らず、町全体の公共施設において社会教育機会の提供に努める。

Q 現在、藤江公民館を利用している団体は、廃止後も、現在と同等の条件で活動を継続できるか。



▲藤江公民館

A 藤江公民館を利用している団体については、現在も優先して運用はしていない。町内既存施設の稼働率を確認したところ、利用できる曜日、時間帯はあるため、継続して活動できると考える。

一般会計補正予算

児童クラブの定員増

Q 森岡児童クラブの受入状況は。

A 定員を90名から120名に増員し、当初の申込者128名に対し、定員の1割増し以内の128名全員の受入れをしている。

当初の申込期日を過ぎた後に、児童クラブの利用申請をした方は受入れができていない状況。今年5月末時点で森岡児童クラブの待機児童は4名。

Q 町全体での児童クラブの待機児童の状況は。

A 今年5月末時点で、森岡児童クラブ4名、緒川児童クラブ2名、緒川新田児童クラブ4名の合計10名。



▲森岡児童館



傍聴席の耳と目
傍聴された方にアンケート

傍聴された方にアンケート用紙を配付し、ご意見・ご感想を聞きました。今定例会では36名に回答いただきました。一部を要約して紹介します。

登壇者以外の表情がわかるような配信が見たい。

議会に興味を持ってもらえるようもっと町民に周知したほうがよい。

傍聴者にも一般質問の内容がわかるような資料があるとよい。議案の提示がしてほしい。

議会だよりに要請・請願事項の審議について詳しく掲載してほしい。

ぜひ傍聴いただきアンケートにご協力ください！

いただいたご意見・ご感想は、議会事務局だけでなく、議員と町当局にも共有しております。ぜひ傍聴いただきアンケートにご協力ください！次の定例会日程は裏表紙でご確認ください。



6/8
月

緒川小学校の6年生が町議会を訪れ、議会の体験をしました。

議会の役割や仕組みについて説明を受けた後、児童たちは議場で議長、議員、職員になりきり、質疑応答を体験しました。議題は「緒川小学校トイレ洋式化改修工事」。質問をしたり、それに対する回答を受けたりすることで、議会の運営に関する具体的な流れを学びました。この活動を通じて、児童たちが議会への関心を深め、主体的に学ぶ姿が印象的でした。



議会トピックス

GIKAI TOPICS

定例会だけじゃない！
議会の動き

東浦町議会議員の政治倫理に関する条例 に基づく審査結果等の公表について

ホームページ



6月3日に開催された本会議において、山下享司議員に議員政治倫理基準違反ありと決定し、謝罪文を朗読するよう勧告しました。なお、6月25日に開催された本会議において、山下享司議員は謝罪文を朗読しました。

審査対象議員氏名

山下 享司

審査請求の理由

東浦町が令和6年度に負担金を拠出している半田交通安全協会の役員の職に就いていることが東浦町議会議員の政治倫理に関する条例第3条第9号(町から補助金等の交付を受けて運営している団体等の役員に就かないこと)に違反するため

審査結果

(1) 政治倫理基準に違反する行為の
存否

(2) 措置
本会議における謝罪文の朗読勧告

審査会の意見

(1) 政治倫理基準に違反する行為の

存否

半田交通安全協会からの請求書の名目は「賛助金」となっており、また東浦町からは「負担金」として支出している。

この「賛助金」あるいは「負担金」が、本条例の「補助金等」に含まれるかについては、本条例の趣旨は、誠実かつ公正で民主的な市政の発展に寄与するというものであり、町民の立場からみると、形式的にせよ、東浦町から何らかの支出がある団体について、議員がその団体の役員になることは、議員と東浦町との癒着を疑われることになると考えられる為、「賛助金」あるいは「負担金」であっても「補助金等」に含まれると考えられる。

また、東浦町の支出における分類においては、「負担金」は、「負担金、補助及び交付金」の項目の中にあり、「補助金等」という文言からは、「負担金」も、この中に含まれると考えるのが自然であると言える。

以上より、「賛助金」あるいは「負担金」は、本条例の「補助金等」に

含まれると判断し、山下享司議員が半田交通安全協会の役員の職に就いていたことは、本条例第3条第9号に該当すると判断した。

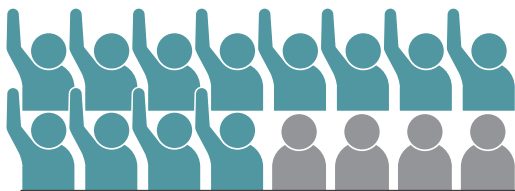
(2) 措置

山下享司議員については、本条例制定当時、議長の職にあり、本条例の趣旨を一番よく理解しているはずの議員であったことを考えると、議長による口頭又は文書による注意ではなく、本会議において、謝罪文を朗読することを勧告する。

措置の内容

令和8年6月3日に開議された令和8年第2回東浦町議会定例会にて、山下享司議員に講ずる措置を「本会議における謝罪文の朗読勧告」と決定し、同日、山下享司議員に対し、本会議において、謝罪文を朗読するよう勧告した。

●本文は東浦町議会議員の政治倫理に関する条例第13条の規定に基づき公表します。



16人中12人が登壇

各議員の記事に掲載の二次元コードを読み込むと、その議員の一般質問の様子を動画でご覧いただけます。

町政を問う！

一般質問

6月9日・10日

★ YouTube にて議会映像 配信中！



定例会・委員会も
ライブ中継します！

スマートフォンやパソコンから
ご自宅でも議会の様子をリアル
タイムでご覧いただけます。
身近な町政を知る機会として
ぜひお気軽にご覧ください。



CONTENTS

子育て・教育

- 愛知駅伝優勝を目指して対策は
前田 明弘 P9
- 東浦町立保育園の民営化について
三浦 雄二 P10

健康・福祉

- 高齢者福祉、人生100年時代をどう受け止めるか
山田 眞悟 P8
- シルバー人材センターについて
山田 眞悟 P8
- ゆうゆう憩の家の交流館化について
山田 眞悟 P8
- 带状疱疹ワクチン接種について
三浦 雄二 P10
- 高齢者の在宅介護を支える人材の確保について
赤川 操恵 P10
- 持続可能な子ども食堂を目指して
秋葉富士子 P11
- 団地内商業施設閉店に伴う生活支援対策
について
大川 晃 P11
- コミュニティセンターの水分補給環境整備を
大川 晃 P11
- 国民健康保険税の負担軽減を求める
杉下久仁子 P12

くらし

- 中東情勢の影響に備えるごみ袋の安定確保を
森 靖広 P8
- ごみ等の搬入支援として軽トラック等貸出制度
の導入を
森 靖広 P8
- 地域の居場所と買い物環境の確保について
杉下久仁子 P12

安全・安心

- 東浦文化広場利用者における安全対策について
前田 明弘 P9
- 防災士受験費用補助制度の導入を
赤川 操恵 P10
- 犯罪被害者・遺族支援の条例制定を
北野 興地 P13
- 高齢者が活躍できる社会づくりについて
北野 興地 P13

まちづくり

- 都市計画道路緒川南北線全線開通の時期は
山田 眞悟 P8
- いつ起こるかかわからない災害への備え！
間瀬 元明 P9
- 利便性ある道路にするために！
間瀬 元明 P9
- 企業誘致で雇用を増やそう！
間瀬 元明 P9
- 給水機の設置について
秋葉富士子 P11
- 人口減少による地域課題解決を
久松 純志 P12

その他

- 総合窓口案内の設置を
赤川 操恵 P10
- スマホ申告について
秋葉富士子 P11
- 指定管理者制度の活用について
久松 純志 P12
- 民法改正により施行された共同親権制度活用
が子どもの利益に
久松 純志 P12
- 投票環境向上による投票率の改善を問う
長坂 知泰 P13

Q どうする・

人生100年時代



やまだ しんご
山田 眞悟
議員



A 生きがいづくり・社会参加の促進

Q 高齢者福祉、人生100年時代をどう受け止めるか。

A 高齢者の仲間づくりや健康・生きがいづくりにつながる地域活動を支援している。

ゆうゆうクラブに対し、補助金の交付や町広報誌への会員募集記事掲載、モルック大会や麻雀大会、研修会などの開催支援を行っている。

シルバー人材センターの支援を

Q 会員数と受注件数は。

A 会員数は、今年3月末で男性231人、女性146人。昨年度の受注件数は、請負2423件、派遣122件となっている。

地域の交流館活動

Q ゆうゆう憩の家交流館化を。

A ゆうゆう憩の家は、今年10月1日から町民の福祉向上、健康増進を図るとともに、世代間交流を通じた活力ある地域づくりにつなげる交流館にする。施設の利用調整と予約管理は町が直接行う。



▲緒川ゆうゆう憩の家

都市計画道路緒川南北線

Q 全線開通の見通しは。

A 未整備の160mの区間の一部用地交渉がまとまり用地取得ができた。令和10年度の暫定供用を目標に準備を進めている。残りの未買収用地については、引き続き用地交渉を行っていく。

Q 指定ごみ袋

中東情勢の影響は

A 在庫不足に陥る心配なし！

Q 指定ごみ袋の在庫状況及び供給体制並びに不足時の代替袋の使用を含む臨時運用の検討状況は。

A 指定ごみ袋は、昨年度末時点で大・中サイズが5カ月分、小サイズが4カ月分、特小サイズが9カ月分あり、今年度分も予定どおり納品されている。中東情勢による原材料供給への不安に備え、来年度の指定ごみ袋を一部前倒しで納品する契約とする。万が一不足した場合は指定ごみ袋以外での排出を認める臨時措置を検討する。

Q 買いだめの防止や住民周知をどのように考えているか。



▲出典：東浦町ホームページ



もり もり
森 靖広
議員



A 町ホームページ、町公式「ら」を活用し必要以上の購入を抑えていただくよう周知している。取扱店には町で作成したチラシを売り場に貼っていただいている。

軽トラック等貸出制度の導入を

Q ごみ等の搬入支援として軽トラック等貸出し制度導入は、町民サービスの向上につながると考えるが見解は。

A 貸出制度を設けることで自身での排出が可能になるため提案のとおり生活支援策として住民サービス向上につながると考える。

Q 軽トラック等貸出制度の導入に向けた課題整理と実証実験を行っては。

A 貸出す車両の確保、任意保険、一連の貸出業務の省力化等の課題を整理し、本格導入を行う前に実証実験を行い、問題点を把握するとともに、今後実施に向け取り組む。

Q 愛知駅伝 優勝の対策は



まえだ あきひろ
前田 明弘
議員



A 応援気運の醸成に努める

Q 駅伝開催の意義や目的は。

A 地域の代表として参加することで、子どもたちの健全育成や競技スポーツへの関心向上につながるほか、住民の応援や選手への支援がコミュニティ形成、地域活性化、シビックプライド^①の醸成に一定の役割を果たしている。

Q 令和7年までの本町の結果は。

A 第1回大会で優勝。その後3年間は優勝には届きませんでした。第5回大会から6連覇を達成。その後も、第14回・16回を除き、第18回まで準優勝または第3位で、これまでにすべての大会で入賞を果たしている。

Q 町民の応援についてはPR不足と考えるが見解は。

A 町民の皆さんの関心や、応援気運を高めていくことは、チーム力の向上にもつながる重要な取り組みと認識している。現在も応援者の募集を行い、大型バス1台を

準備しているが、近年は満席に至らない状況。

東浦文化広場利用者への 安全対策は

Q 停止線やカーブミラーの現状は。

A 職員の道路パトロールによる日常点検だけでなく、住民の皆さんからの電話による通報、フィックスマイストリート^②への投稿、郵便局からの通報、地区からの要望等により、修繕が必要と判断した場合、適宜実施している。



▲町道4035号線安全対策

Q 名古屋 三河道路は！

A 単なる通過道路にならないように

Q 名古屋三河道路に関し、令和7年度に行った本町の動向は。

A 県及び関係市町と構成する「名古屋三河道路整備促進期成同盟会」を通じて、早期実現に、国への要望活動に取り組んでいる。

Q プロジェクトチームは、どのようなメンバーで構成されどのような検討をするか。

A 道路や土地利用、農業・商業・工業・防災等、様々な経験、知見を持つ職員を結集し、より良い課

題解決方法や実現策を模索する。

Q 名古屋三河道路に関する要望に対する愛知県の見解は。

A 早期実現に向けた、計画の具体化を要望した。「アクセス道路や、沿線におけるまちづくりの検討もあわせて進めていく必要がある、今後とも愛知県が先頭に立って沿線市町と連携しながら早期事業化に向けてしっかりと取り組んでいくので協力をお願いしたい」との所見をいただいた。

災害への備え！

Q 7年度に、被災者生活再建支援システムが導入。大規模災害発生時には住家の被害認定調査や罹災証明発行業務を円滑に行い、被災者の迅速な生活再建の支援が想定されていると思うが、今後訓練等で使用するか。

A 災害対応に備え、タブレット端末等を用いた住家の被害認定調査の研修を予定。



ま せ もとあき
間瀬 元明
議員



語句
説明

①シビックプライド…住民が自分の暮らす町や地域に対して抱く「誇り」や「愛着」、「この地域社会を自分たちの手でもっと良くしていこう」という当事者意識のこと
②フィックスマイストリート…町内の道路・水路・防犯灯・公園など地域の課題を手軽に投稿し、町と問題を共有できる無料アプリ(通信費は個人負担)

Q 帯状疱疹ワクチン の接種率は

A 定期接種率は29・7%

Q 帯状疱疹は、80歳までに3人に1人が経験すると推定されている。帯状疱疹ワクチン接種に関する周知は。

A 町ホームページ及び定期接種の対象者へ、接種場所、接種費用、任意接種の事前申請書方法等を知らせている。

Q 今後の取り組みは。

A 今後も、現在の定期接種及び任意接種の制度を適切に運用し分かりやすい周知と情報提供に努める。



ワクチンの種類

帯状疱疹ワクチンには2種類あり、接種方法や、接種後の注意事項、接種後の効果などが異なります。

接種方法	接種場所	接種費用
任意接種	保健所、指定の医療機関	接種券を提示すれば無料
定期接種	保健所	接種券を提示すれば無料

接種後の注意事項

接種後は、接種部位の腫れや痛み、発熱などの副作用が現れる場合があります。接種後は、接種部位を清潔に保ち、接種部位をこすらないでください。

接種後の効果

接種後は、帯状疱疹の発症リスクが低下します。接種後は、接種部位の腫れや痛み、発熱などの副作用が現れる場合があります。接種後は、接種部位を清潔に保ち、接種部位をこすらないでください。

▲出典：厚生労働省リーフレットより



みうら ゆうじ
三浦 雄二
議員



一東浦町立保育園の民営化について

Q サウンディング型市場調査^①で、民間事業者からどのような意見があったか。

A 老朽化した園舎や耐震性、保育環境の懸念。施設の修繕を前提に運営を行うことは可能だが、修繕費の負担や保育スペースの制約を懸念する意見があった。

Q 引継ぎなどにどのような配慮を行うのか。また、保育料やサービス内容に変更が生じる可能性は。

A 子どもたちが安心して新しい環境に適応できるよう、事前に十分な移行準備期間の確保が重要。本町職員と移管先事業者が共同で保育を行い、日常の保育や年間行事などの運営を円滑に引き継ぐことを目指す。また、保育料は国の基準等を踏まえ、保護者の所得等に応じ本町が決定するものであり、民営化を理由として保育料の変更が生じるものではない。

Q 訪問介護員不足 への見解は

A 非常に重要な課題と認識

Q 本町の訪問介護事業所数は。

A 愛知県知事の指定を受けている10事業所、知多北部広域連合長の指定を受けている9事業所。

Q 訪問介護員の人手不足について本町の見解は。

A 介護需要が高まる一方で訪問介護員の高齢化や担い手不足、賃金水準の低さや精神的身体的な負担、不規則な勤務形態など人材の確保及び定着が難しい。本町の現場でも人材不足が生じている状況と認識している。

Q 生活支援の部分は地域での支えあいや多様な担い手による



▲在宅生活を支える訪問介護員



あかがわ みさえ
赤川 操恵
議員



支援の充実が重要。現在どのような取り組みが行われているか。

A ひとり暮らし高齢者などに、買い物、ごみ出し、掃除、話し相手など日常生活の「ちよつと困った」事を地域サポーターが支援する「ひがしうらおすそわけ隊」の活動を推進している。また、NPO法人による見守りや家事支援など、民間での多様な生活支援サービスがある。

一総合窓口案内の設置を

Q 知多5市4町の設置状況は。

A 南知多町、美浜町を除く5市2町で設置されている。

一防災士受験費用補助制度の導入を

Q 導入についての見解は。

A これまで行ってきた防災リーダー・防災ボランティアコーディネーター養成講座の内容を充実させ住民の防災意識の向上を図る。

①サウンディング型市場調査…自治体が施設活用などの公募を始める前に民間企業から意見やアイデアを1対1の対話を通じて市場性を調べる調査

Q 子ども食堂運営に補助を提案



あきば ふじこ
秋葉富士子
議員



A 新たな補助制度の創設はしない

Q 子ども食堂の運営に要する経費に対し、補助を行っている自治体がある。本町でも同様の取組を提案するが見解は。

A 本町および東浦町社会福祉協議会等による既存の支援制度、食料提供、周知支援に加え、県の補助制度や食料費高騰への支援等子ども食堂の活動を支える仕組みが設けられている。現時点では町単独で新たな補助制度を創設する予定はない。

給水機の設置

Q (公共施設の)自動販売機の代替設備としての給水機の設置についての見解は。

A 施設利用者の水分補給という重要な点において、充分代替できる設備である。給水機には、水道直結式やタンク入替式等の種類がある。本町としてはコストや運用の手間も踏まえ、慎重に考えていく。

Q 「ボトルフリープロジェクト」①に参加することを提案するが見解は。

A 「ボトルフリープロジェクト」はマイボトルの利用を促すため自治体と給水機のレンタル事業者が連携して取り組んでいる事業である。参加については、先進自治体の利用状況などを参考に検討していく。



▲ボトルフリープロジェクトの給水機
(阿久比町中央公民館)

スマホ申告

Q 役場職員と一緒に作成するスマホ申告相談の今後の取組予定は。

A 引き続き実施し、時間等にとらわれず申告できるメリット、スマホ申告を円滑に行うための事前準備や注意事項の周知を強化していく。

Q 買い物困難者への支援策は

A 実現可能な方策を検討

Q アイプラザ閉店後の具体的な支援策は。

A 具体的には、3点考えている。1点目は、移動販売。現在、民間事業者による移動販売の導入について、試験的な実施に向けた調整を進めている。2点目は、ネットスーパーの活用。3点目は、買い物支援、住民同士の支え合いも含めた既存公共交通手段を補完するライドシェア等の移動手段を検討。

Q 商業施設が担ってきた地域の見守りや交流機能の低下が懸念されるが、社会福祉協議会等と連携した居場所づくりや見守り体制の構築に対する町の考えは。

A 地域コミュニティの維持の観点からも重要な課題であると認識している。

Q ATMが利用できなくなることにについての見解は。

A 高齢者を中心とした日常生活への影響が懸念されるが、単独で

のATM設置が困難であるため、生活の利便性の確保に向け、引き続き金融機関に対して要望を行い、近隣で利用可能なATMの情報提供に努める。

コミュニティセンターの水分補給環境整備を

Q 自動販売機撤去後の利用者が水分補給できる環境の確保は。

A 自動販売機の設置、ウォータークーラー、ウォーターサーバー、蛇口直結型の浄水器カートリッジ等、様々な方法を比較検討するに一定の時間を要することから、クーリングシエルターとなる公共施設においては、熱中症予防用の飲料水を備え、窓口で提供できるようにしている。



▲住民から届いたアンケート



おおかわ おさむ
大川 晃
議員



①ボトルフリープロジェクト…民間の給水機レンタル会社が自治体と連携して熱中症対策、プラスチックごみ削減等を目的とした事業に取り組むこと

Q 地域の居場所の確保を



すぎした くに こと
杉下久仁子
議員



A 移動販売、交流の場として期待

Q 周辺住民の生活を55年に渡り支えてきた地域のスーパーが本年5月末に閉店。県営住宅や分譲団地では高齢化が進んでおり、買い物の不便さや外出機会の喪失による孤立の不安を危惧する声が寄せられている。買い物困難者への支援を検討しているか。

A 検討中の移動販売が単なる物販だけでなく、住民同士が顔を合わせるきっかけ等、交流の場としての機能も期待される。

地域住民や東浦町社会福祉協議会等の関係団体と連携し、地域の実情に応じた居場所づくりを支援していく。

一 国民健康保険税の負担軽減を

Q 国民健康保険税は、所得に占める割合が他の社会保険よりも大きい。町独自の負担軽減策(均等割減免、子育て世帯への軽減等)を検討する考えは。

A 県の「保険料水準の統一」に当たり、市町村間の公平性を確保する観点から、町独自の負担軽減策を検討する予定はない。国民健康保険税にとられず、子育て世帯の負担の軽減にも努めている。



▲地域の居場所となっていた交流施設(ランプラザ)

Q 人口減少による地域課題解決を



ひらまつ ただし
久松 純志
議員



A 多機能化を軸に再編を実施

Q 将来、財政負担が大きい公共施設再配置計画の前倒しを。

A 本計画は長期のため適宜、施設の利活用の要否を判断し、時期の見直し複合化の順番を入れ替え、住民の利便性向上を念頭に、多機能化を軸とした再編を実施する。

Q 町内の民間事業者や町外の人材協力のため情報発信が必要では。

A 本町では、町内の事業者や地域団体、町外の企業等との協力、産官学連携や市町村を横断する広域的なネットワークを活用し課題解決の取組を一層深化していく。



▲第2次衣浦定住自立圏共生ビジョン

Q 人口減少は社会資源の余剰を発生、行政サービスの見直しは。

A A-1の活用を始め、DXの推進で多様化する住民ニーズに対応できる体制を整備。余剰となる社会資源は町内外の地域団体・民間事業者と連携し有効活用を図る

Q 近隣市町との差別化と協力を。

A 東浦町の魅力を明確にし、近隣市町と連携。互いの強みを活かして関係人口や交流人口の増加に努める。広域連携による効率化や効果の最大化が期待でき、持続可能な財政運営にも有効と認識。

一 指定管理者制度の活用を

Q 制度の要件と効果は。

A 公の施設での管理代行をしている本町の3施設は、民間の専門性やノウハウの活用により、運営する施設等の利用者数は増加傾向

その他 民法改正で施行された共同親権制度活用がこどもの利益に。

Q 「電子投票」導入の見解は



ながさか ともやす
長坂 知泰
議員



A 来年の町議会議員選挙より導入

「投票環境向上による投票率の改善」
Q 電子投票については、スタンドアローン型電子投票機^①であれば技術的信頼性も確保され、選挙結果の判明も早く、疑問票・無効票の解消につながり導入は効果的と考えるが見解は。

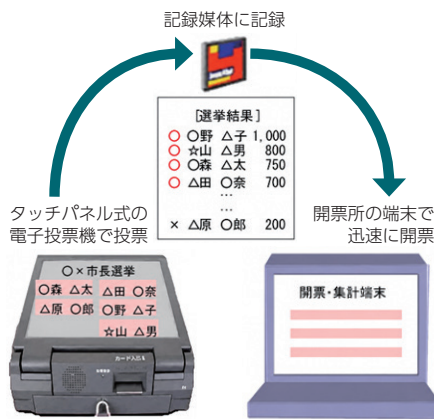
A 来年に執行予定の町議会議員選挙及び町長選挙に電子投票を導入する方針。導入の理由は①記載ミスによる無効票が生まれず有権者の意思を正確に反映できる②システムの安全性が向上している③導入費用が約1500万円と大幅に削減され、国からの特別交付税措置により財政負担も軽減される④開票作業の効率化と正確性の向上などがあげられる。

一方で投票日当日の即日開票は、職員の負担が非常に大きく、開票結果を待つ関係者の負担も同様である。期日前投票の浸透状況を見極めつつ、投票終了時間の繰り上げを含めた柔軟な対応も必要と考えている。

いる。利便性向上を図るための期日前投票所の増設については、二重投票防止策の徹底を含め設置に向けた準備を進める。投票時間の拡大は、時間帯別の投票実績に加え、運営コストや人件費、他の自治体の事例などを踏まえ、多角的に検討する必要がある。

ある。利便性向上を図るための期日前投票所の増設については、二重投票防止策の徹底を含め設置に向けた準備を進める。投票時間の拡大は、時間帯別の投票実績に加え、運営コストや人件費、他の自治体の事例などを踏まえ、多角的に検討する必要がある。

Q 期日前投票所の増設や投票時間の拡大は投票率の向上につながる可能性があると考えられるが見解は。



Q 犯罪被害者等支援の条例制定を



きたの こうじ
北野 興地
議員



A 条例制定に向け取り組んでいく

Q 例年3月に役場で開催の犯罪被害者等支援パネル展の意義・目的は。

A パネル展は、犯罪被害者等の苦悩や支援の重要性を住民に発信し支援体制の充実を促進する意義を持つ。被害者等が直面する課題への理解を深めることが目的。社会全体で支える環境を育むことを目指している。

Q 町民に寄り添うために「犯罪被害者・遺族支援条例」の制定を。

A 犯罪被害に遭う人は、社会で普通に暮らしている人たちであり、誰もが突然、犯罪被害者等になる可能性がある。犯罪被害で、身体に傷や障害を負い、トラウマ反応

高齢者が活躍できる社会づくりを

Q 高齢者が生き生きと活躍できる社会の実現のため、「情報と人をつなぐ仕組みづくり」を進める考えがあるか。

A デジタル技術の活用による情報発信や人と活動をつなぐ手法も研究、高齢者が地域活動等社会参加につながるやすい環境づくりに活かす。

高齢者が必要な情報に繋がりやすく、地域活動に参加しやすい仕組みづくりを進めていく。



聴かせて！ ひがしうら 好きですか？

vol.26

東浦町内で頑張る皆さんにお話を聴くコーナーです。

オレンジカフェこころ屋

東浦町 好きですか？

メンバー・利用者25人に聴きました。

好きレベル	人数	理由
5	19人	・自然が多い、自然が身近にある ・あったかい人が多くて優しい
4	4人	・みんな仲良しで好き ・イオン東浦があるので全世代が楽しめることが多い
3	2人	
2	0人	
1	0人	

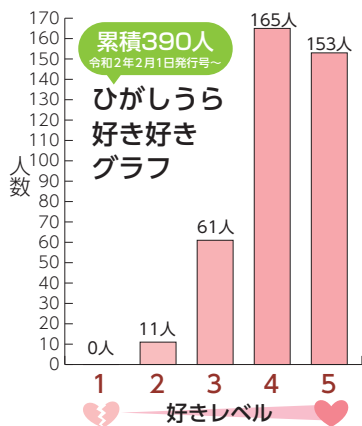
平成27年4月からオレンジカフェ（認知症カフェ）を月1回開催しています。認知症の人やその家族、地域の人や専門職など色々な人が誰でも気軽に集い、おしゃべりや毎回変わるプログラムを通して楽しく交流しています。笑いが絶えない時間となっています。

どんな活動をしているの？



東浦町、こうだといいな。

「認知症にやさしいまち東浦」の名のとおり、認知症になっても理解してくれる人、優しくしてくれる人がたくさんいて、買い物や喫茶店にも安心して出掛けられるまちになってほしいです。認知症の人や介護者の人が気軽に集まれる居場所があったら、もっともっと安心できると思います。



編集後記

令和8年9月より、いよいよアジア競技大会及びアジアパラ競技大会が開催されます。本町では西部グラウンドがフリケット競技の練習会場となる予定です。世界につながる大会を身近に感じてもらえるよう観戦ツアー開催のための補正予算も可決されました。多くの方々が大会に親しみ交流が広がる機会となることを願い、今後地域の活力と発展につながるよう盛り上げていきたいと思っています。

■議会広報特別委員会
委員長 赤川 操恵
副委員長 大川 晃
委員 北野 興地
委員 長坂 知泰
委員 水野 久子
委員 森 靖広



9月定例会開催予定

日付	内容
9月1日(火)	議案の上程・説明
4日(金)	一般質問
7日(月)	
9日(水)	議案質疑・委員会付託
10日(木)	まちづくり委員会
11日(金)	こどもふくし委員会
14日(月)	総務委員会
17日(木)	討論・採決

場所:役場3階 議場
時間:一般質問は9:10～、その他は9:30～



東浦町議会
ホームページも
ご覧ください。

YouTube
映像
配信中!

<https://www.town.aichi-higashiura.lg.jp/gyosei/gikai/>

リサイクル適性(A) この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

UD
FONT
by MORISAWA